

高根沢町若者ミーティング 記録

1. 開催日時 : 令和8年5月20日(水) 19時00分～21時00分
2. 開催場所 : 高根沢町役場 第1・2会議室
3. 会議の議事 : 住民目線による情報発信事業のキックオフについて
4. 出席者 : 若者ミーティング委員4名

(事務局)

高根沢町企画課	課長	檜山史進
	課長補佐	直井義之
	係長	菅谷昌孝
	主任主事	石川秀幸

(講師)

○ひばらさんのデザイン工房

代表 檜原 朝美 氏 (高根沢探訪 WEB マガジン「たかマガ」運営者)

○For Good Design

代表 栢田 淳 氏

5. 会議の内容

- 住民目線による情報発信事業の名称について
 - ⇒・委員意見により「たかねざわ伝え隊」に決定。
 - ・町内だけでなく町外からの認知度向上も見据え「たかねざわ」を「伝えたい(隊)」という思いを表現したもの。
- ターゲットの設定
 - ⇒・町に無関心な層、広報紙やホームページ以上の情報がうまく伝わっていない層。
 - 町民を主とした若者や子育て世代、高校生等をイメージ。
- 発信するコンテンツ
 - ⇒・主として町の施策やイベントに関する情報。合間に町のユニークなスポット等の紹介。
 - ・町の人々の素顔が見られるよう、主に関係する人を紹介するような方法で発信する。
 - ・最初の投稿では若者ミーティングのメンバーを紹介し、これを町広報紙や SNS でも発信して活動の認知度を高める案が有力。
 - ・各メンバー毎にテーマを持って発信しキャラ付けしていく形。
- 発信を行う媒体
 - ⇒・主に Instagram (インスタグラム)。アカウント名:「たかねざわ伝え隊」
 - なるべく多くの人目に留まるよう主にショート動画等を用いる。

●事業の進め方（今後の方向性）

- ⇒・メンバーの経験、スキル、趣向、参加可能性に応じた役割分担が必要。
発信するための素材収集（写真・動画など）を始め、コンテンツ制作に着手。
- ・町や他の地域情報発信主体と必要に応じて連携。
 - ・町情報の発信の他、町民側から情報提供を募ることも可能性として挙げられる。
 - ・情報発信を地域のコミュニケーション希薄化を解決する手段としても捉え、事業を継続して行うことで人々の連携強化につなげていく。